

# 取扱説明書

ご使用の前に
よくお読みください。

# FREED

## サイドリフトアップシート車

***このたびはHonda車をお買い上げいただき、***
***ありがとうございます。***
***この取扱説明書は、FREED サイドリフトアップシート車に***
***装備された専用機構の取り扱いについてのみ説明してあります。***
***その他の内容については FREED 取扱説明書をご覧ください。***

## 安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

**⚠危険**
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

**⚠警告**
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

**⚠注意**
指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

## その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

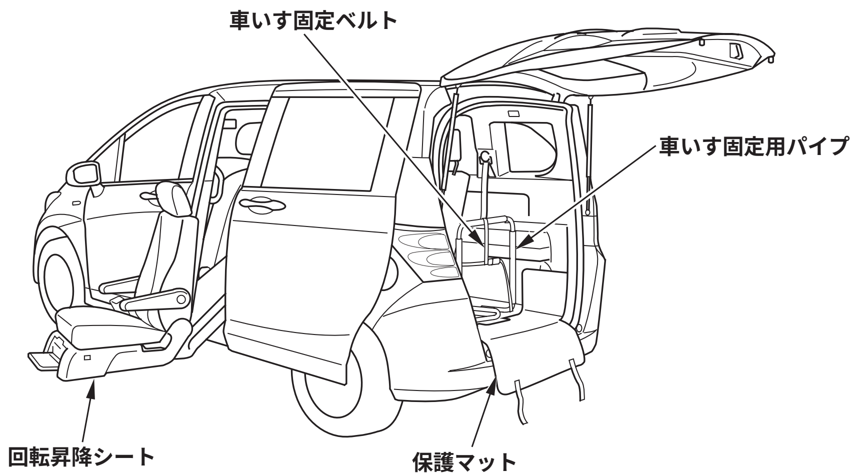
**アドバイス**
お車のために守っていただきたいこと
（車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、
異常事態の処置方法を記載しています）

**知　識**
知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

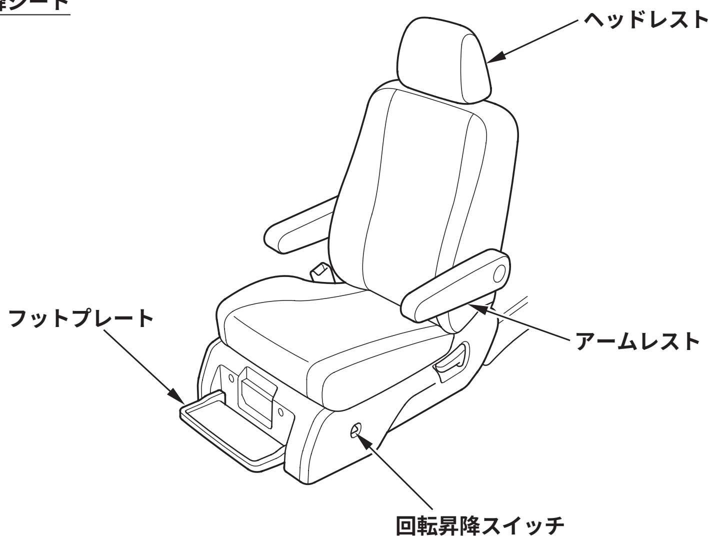
車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

# もくじ

# 各部の名称



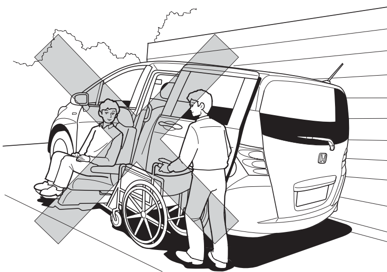

回転昇降シート



# 安全ドライブのための必読ポイント

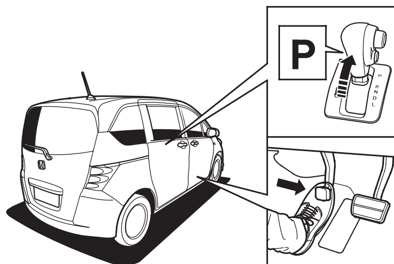
### 坂道での回転、昇降操作はしない。

●回転、昇降操作は必ず平坦な場所で行ってください。
坂道では、車や車いすが不安定になり、転倒や落下などにより思わぬけがをすることがあります。



### 回転、昇降するときは。

●セレクトレバーがⓅに入っていないと回転、昇降の操作ができません。パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをⓅに入れて操作してください。




●助手席側パワースライドドアは、全開の位置にしてください。
- 全開位置にしていないと回転昇降シートの下降操作ができません。
- 全開位置にしていないと回転昇降シートを上昇させるときに、助手席側パワースライドドアとシート、車体の間にはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

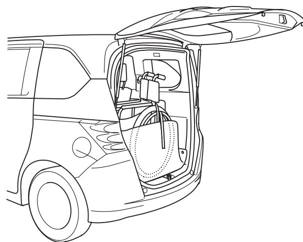
## 回転、昇降操作は介護する人が行う。

●回転、昇降操作は、道路状況や回転昇降シートの周辺にも注意し、介護する人が行ってください。
回転、昇降操作を誤ると思わぬけがをすることがあります。
- シートを操作する前に、シートに座っている人の体がアームレストの外側に出ていないことを確認してください。
- リヤシートにお子さまを乗せているときは、不意の動作に注意してください。



## 車いすは確実に固定。

●必ず車いすのブレーキをかけてから、車いす固定用パイプに固定ベルトで固定してください。
走行中車いすが不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



# 各部の開閉

## 助手席側パワースライドドア

知　識

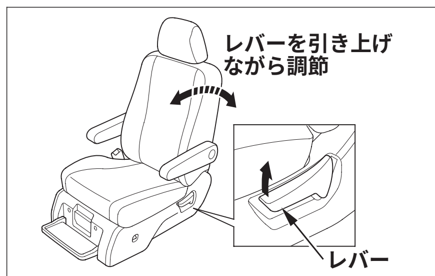
- 助手席側パワースライドドアが全開になっていないと、回転昇降スイッチを押しても回転昇降シートは作動しません。
- パワースライドドアメインスイッチが“ ON ”のときは、回転昇降シートが走行位置(格納位置)以外の位置で助手席側パワースライドドアを閉めようとしても“ ピーピーピー ”とブザーが鳴り作動しません。
- 回転昇降シートが作動している途中で、誤って助手席側パワースライドドアのハンドルを操作し、ストッパーが外れてスライドドアが“ 閉 ”方向に動いてしまうと“ ピーピーピー ”とブザーが鳴り、シートの作動は停止します。
  - パワースライドドアメインスイッチが“ ON ”のときは、助手席側スライドドアの外側ドアハンドルを引くか、内側ドアハンドルを“ 開 ”方向へ操作すると自動的に開くことができます。運転席スイッチでも操作できます。
  - パワースライドドアメインスイッチが“ OFF ”のときは、助手席側スライドドアの外側ドアハンドルを引くか、内側ドアハンドルを“ 開 ”方向へ操作して手動で開きます。

パワースライドドア操作の詳細については、FREED取扱説明書をご覧ください。

# シートの調節

## 回転昇降シート

### ●背もたれの調節

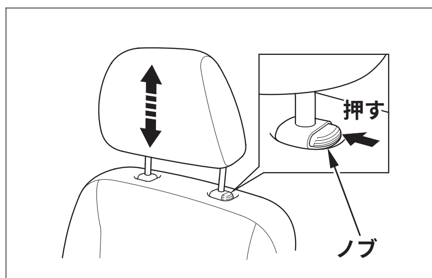



### ●ヘッドレストの調節

走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。
背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。



高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。
低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。




**⚠警告**

- ヘッドレストを固定できる高さを越えて使わないでください。
  衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
  走行前に必ず正しい位置に調節してください。

### ●アームレスト

前に倒して使用します。
回転、昇降操作中は、前に倒しておいてください。




## ⚠注意

- シートベルト着用時にアームレストに引っかけると、万一のときシートベルトの機能が発揮できないことがあります。
  シートベルトは正しく着用してください。

**アドバイス**

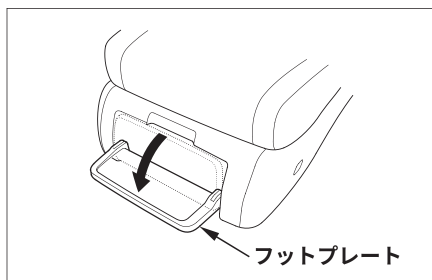
- アームレストに腰をかけたり荷物を載せるなどの大きな力を加えないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

**知　識**

- 回転、昇降中にアームレストを倒しておいても、背もたれの角度によってはアームレストが車体に接触することがありますが異常ではありません。

### ●フットプレート

前に倒して使用します。
回転、昇降操作中は、介護される人の足を乗せておいてください。




**アドバイス**

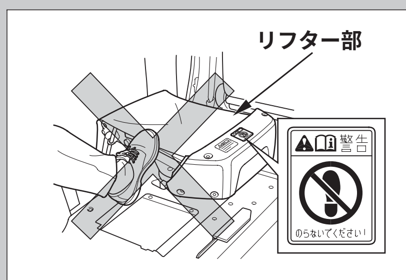
- フットプレートが破損するおそれがありますので、次のことをお守りください。
  - フットプレートに必要以上に体重をかけたり、ステップの代わりにしないでください。
  - 走行中にフットプレートに足を乗せていると、必要以上に体重がかかることがありますので、フットプレートは必ず収納（折りたたむ）してください。

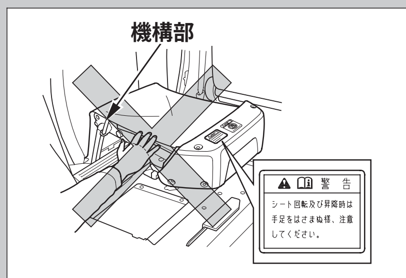
### ●回転昇降シートの操作

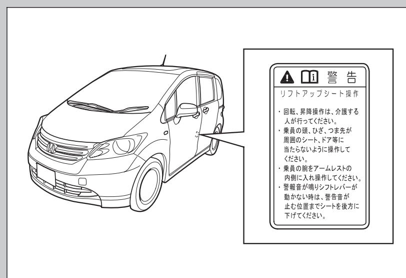
セレクトレバーが🅿のときに回転、昇降操作ができます。
助手席側パワースライドドアを全開にして回転、昇降操作をしてください。

## ⚠警告

- 回転、昇降操作は介護する人が行ってください。シートに座っている人が操作すると、手や腕などをはさんだりぶつけたりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。また、お子さまには操作させないでください。
- 回転昇降シートを操作するときは、シートに座っている人の腕をアームレストの内側に入れてから操作してください。回転、昇降中に頭やひざ、つま先などが周囲のシートやドアなどにぶつかり重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 回転、昇降時はリフター部に乗ったり、機構部に触ったりしないでください。手や足などをはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートを走行位置（格納位置）に戻しても“ ピピピッ ”とブザーが鳴り続けるときは、回転昇降スイッチを操作してブザーが止まるまでシートを回転させてから、再び走行位置（格納位置）まで戻してください。それでも“ ピピピッ ”とブザーが鳴り続けるときは、Honda販売店で点検を受けてください。



## ⚠注意

- 回転昇降シートの操作を誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。
  - ・シートの回転、昇降は平坦な場所で、周囲の安全を十分確認してから行ってください。
  - ・パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをⓅに入れてください。
  - ・シートを操作する前に、シート下降位置周辺に障害物がないことを確認してください。
  - ・助手席側パワースライドドアを全開にしてから回転、昇降操作をしてください。回転昇降シートを上昇させるときに、助手席側パワースライドドアとシート、車体の間にはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

回転昇降シートには、チャイルドシートを取り付けないでください。このシートでチャイルドシートを使用することはできません。

## ⚠注意

- この回転昇降シートの最大回転、昇降能力は、100kgです。これを越えての回転、昇降操作は、破損の原因となります。
- 助手席側パワースライドドアが全開になっていないと、回転昇降スイッチを押しても回転昇降シートは下降方向には作動しません。
- 回転昇降シートが走行位置(格納位置)に戻っていないときは、セレクトレバーを操作することができません。セレクトレバーを操作する前に、シートが走行位置(格納位置)に戻っていることを確認してください。
- 回転昇降シートが走行位置(格納位置)に戻っていないときは、助手席側パワースライドドアを自動で閉めることができません。

**シートの降ろしかた**

①フロントシート（助手席）の前後位置調節レバーを引き上げながらシートを前方いっぱいに動かします。

フロントシート　→FREED取扱説明書

②シートベルトが外してあることを確認します。

③シートの回転時や昇降時に座っている人の頭や背もたれが車体にあたらないようにレバーを引き上げながら背もたれの角度を調節します。




**知　識**

● 背もたれが倒れすぎていると、右側のリヤシートと干渉してシートの回転ができなくなります。

④アームレストを前に倒します。このとき座っている人の体がアームレストの内側にあることを確認してください。

⑤フットプレートを前に倒して、足を乗せます。

フットプレート　→８ページ



⑥回転昇降スイッチを下に押し続けると “ ピーッ ”とブザーが鳴り、シートが回転し、外側へスライド、下降します。また、途中でスイッチから手を離せばその場で停止させることができます。

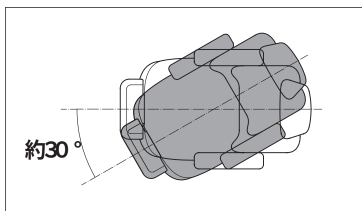



## ⚠注意

- シートを回転、昇降するときは、シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。

### 知　識

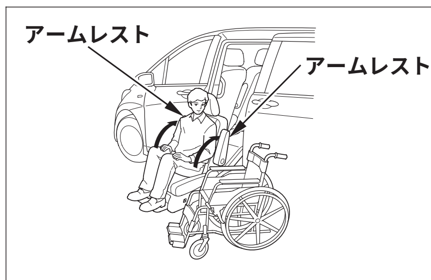
- シートが回転を開始した直後から約30 ° までの位置で、回転昇降スイッチから手を離すと“ ピピピッ ”とブザーが鳴り続けます。




### 知　識

- 回転昇降シートが下降している途中で、誤って助手席側パワースライドドアのハンドルを操作し、ストッパーが外れてスライドドアが“ 閉 ”方向に動いてしまうとシートの作動は停止します。
  - パワースライドドアメインスイッチが“ ON ”のときは、助手席側スライドドアの外側ドアハンドルを引くか、内側ドアハンドルを“ 開 ”方向へ操作すると自動的に開くことができます。運転席スイッチでも操作できます。
  - パワースライドドアメインスイッチが“ OFF ”のときは、助手席側スライドドアの外側ドアハンドルを引くか、内側ドアハンドルを“ 開 ”方向へ操作して手動で開きます。

⑦アームレストを上げて、車いすなどに乗り換えます。



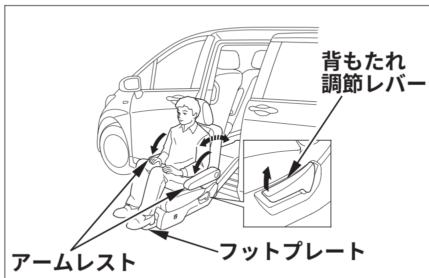
**シートの上げかた**

①フロントシート(助手席)の前後位置調節レバーを引き上げながらシートを前方いっぱいに動かします。

フロントシート　→FREED取扱説明書

②フットプレートを倒し、シートの回転時や昇降時に座っている人の頭や背もたれが車体にあたらないように背もたれの角度を調節します。

車いすなどから乗り換え、アームレストを倒します。このときシートに座っている人の体がアームレストの内側にあることを確認してください。




③回転昇降スイッチを上に押し続けると" ピーッ "とブザーが鳴り、シートが上昇します。

上昇が終了すると続けて車内へスライド、回転して走行位置(格納位置)に戻ります。

シートが走行位置(格納位置)へ戻ると" ピピッ "とブザーが鳴ります。

また、途中でスイッチから手を離せば、その場で停止させることができます。

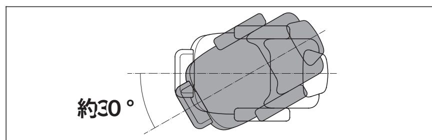



## ⚠注意

- シートを回転、昇降するときは、シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。
- シートが走行位置(格納位置)に戻らないときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

知 識

● シートが回転を開始してから(約30°)走行位置(格納位置)に戻る直前までの位置で、回転昇降スイッチから手を離すと"ピピピッ"とブザーが鳴り続けます。



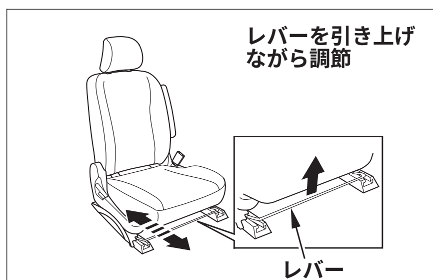

● シートが走行位置(格納位置)に戻っていないときは、セレクトレバーを操作することができません。"ピピッ"とブザーが鳴り、シートが走行位置(格納位置)に戻ったことを確認してから、セレクトレバーを操作してください。
● 故障などにより、シートが走行位置(格納位置)に戻っていないときは、セレクトレバーを操作することができません。シフトロックを解除してください。

シフトロックの解除　→FREED取扱説明書

● 回転昇降シートが上昇している途中で、誤って助手席側パワースライドドアのハンドルを操作し、ストッパーが外れてスライドドアが"閉"方向に動いてしまうとシートの作動は停止します。
  - パワースライドドアメインスイッチが"ON"のときは、助手席側スライドドアの外側ドアハンドルを引くか、内側ドアハンドルを"開"方向へ操作すると自動的に開くことができます。運転席スイッチでも操作できます。
  - パワースライドドアメインスイッチが"OFF"のときは、助手席側スライドドアの外側ドアハンドルを引くか、内側ドアハンドルを"開"方向へ操作して手動で開きます。

## リヤシート（右側席）

### ●前後位置の調節




### ●背もたれの調節

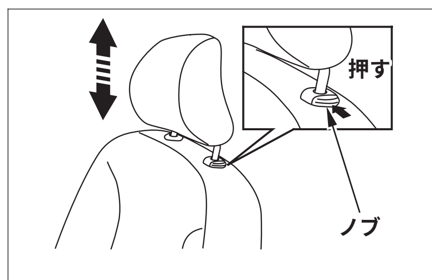



### ●ヘッドレストの調節

走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。
背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。

▼

高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。
低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。




**⚠警告**

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。
  衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
  走行前に必ず正しい位置に調節してください。

# シートベルト

## シートベルト

### ●シートベルトの種類

| シート | | シートベルトの種類 |
|---|---|---|
| フロントシート | | ELR付三点式シートベルト |
| リヤシート | 左 | ELR付三点式シートベルト |
| | 右 | ELR・ALR付三点式シートベルト |

ELR付三点式シートベルト：
体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

ELR・ALR付三点式シートベルト：
通常はELRシートベルトとして機能します。
ALRはチャイルドシートを固定する機構です。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト　→FREED取扱説明書

# チャイルドシート固定装置

## チャイルドシート固定機構付きシートベルト（リヤシート右側席）

この車は、リヤシート右側席にチャイルドシート固定機構付きシートベルトが装備されています。

チャイルドシート固定機構付き
シートベルト →FREED取扱説明書

## 車両限定型ISOFIX取付装置（リヤシート右側席）

リヤシート右側席には、車両限定型ISOFIXチャイルドシートを固定するためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジが装備されています。

車両限定型ISOFIX
取付装置 →FREED取扱説明書

# 車いすの収納

## 収納のしかた

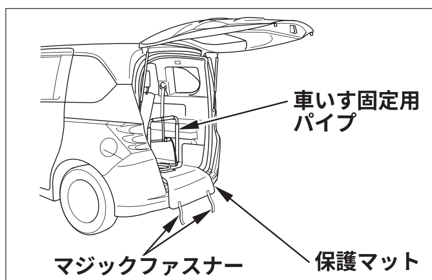
**●車いすを収納するとき**

①テールゲートを開けます。

②回転昇降シート、リヤシートの背もたれを一番起こした位置に調節します。

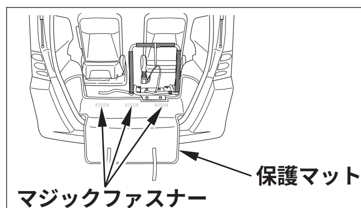
回転昇降シート　→７ページ
リヤシート　→15ページ

③保護マットを引き出し、バンパーにかぶせます。



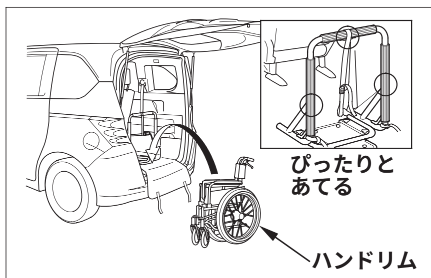

**知　識**

●保護マットを取り外している場合は、マジックファスナーでフロアカーペットに固定してください。




④車いすを折りたたみ、車いすのブレーキをかけてください。

⑤車いすを図のように横向きにのせます。このとき車いす固定用パイプのラバーの上、左、右の３か所に、車いすのハンドリムをぴったりとあててください。また、車いすの後輪は車体右側のライニングにあててください。

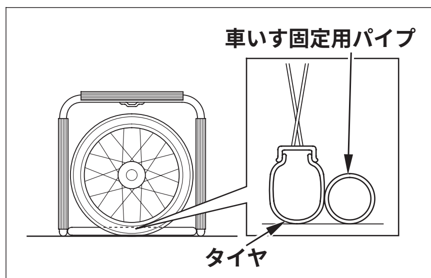



**知　識**

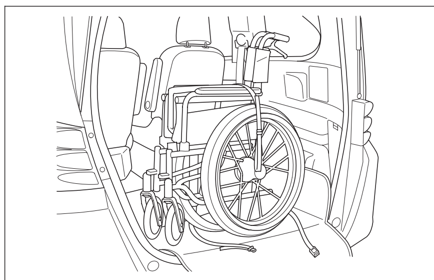
●車いすは折りたたんだ状態では少し上開きになっているので、固定パイプと平行にあたるようにのせてください。

**介護用車いすの場合**

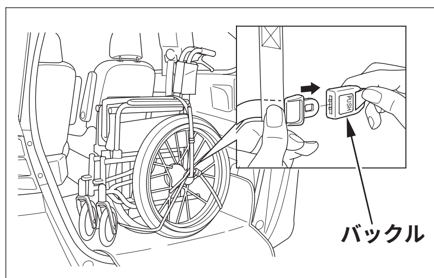
タイヤを車いす固定用パイプの枠の中にはめます。タイヤの下側はパイプの下部分にぴったりとあててください。



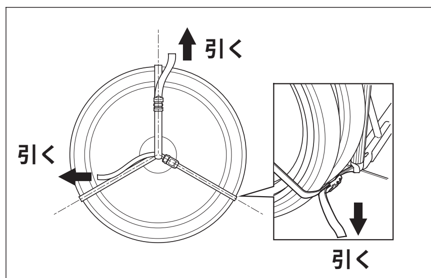
⑥車いす固定用パイプについている３本の固定ベルトを上、右、左の３か所から手前に出します。



⑦車いすを固定ベルトで図のように固定します。上のベルトの輪の中に左のベルトを通し、右のベルトのバックルにはめ込みます。




⑧バックルが図のように車輪の中心近くに来るように右ベルトの端を引いて長さを調節します。車いすを固定パイプの方へ軽く押しつけながら、左ベルトと上ベルトの端を引いてベルトを締めます。

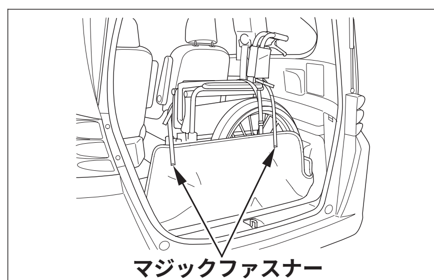



ベルトを締め終わった状態で、ベルトがタイヤをほぼ３等分する位置にあるか確認してください。

**知 識**

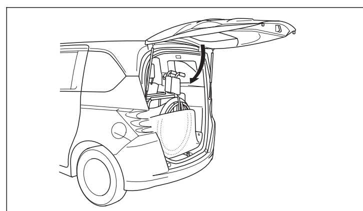
- 左右のベルトは最初にお使いになるときに長さを調節すれば、その後は上ベルトの調節だけで車いすを固定できます。

⑨保護マットを車いすにあてながら、マジックファスナーで車いすに固定します。



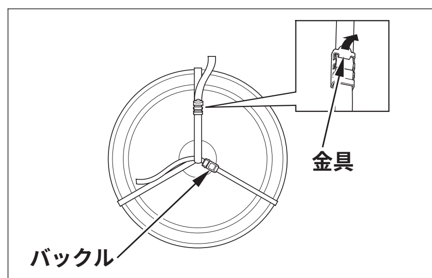

知　識

- 車いすがぐらついたり、固定ベルトがきついときは、固定ベルトの長さを調節してください。
- 車いすを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- テールゲートを閉めるとき、車いすにテールゲートが接触しないように注意してください。
  車いすがテールゲートにはさみ込まれると変形する可能性があります。



## ●車いすを車から取り出すとき

上ベルトについている金具を起こすと、ベルトがゆるみます。ベルトをゆるめてから、バックルのボタンを押してベルトを外してください。



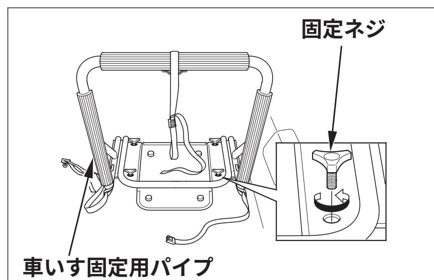
## 車いす固定用パイプの取り外し

カーゴスペースに荷物を積むときなどのために、車いす固定用パイプを取り外すことができます。

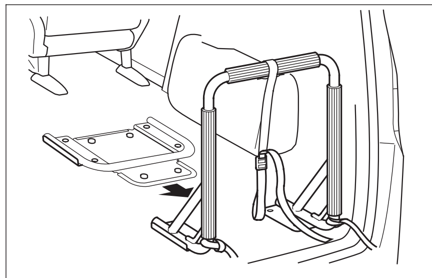
⚠注意

- 車いす固定用パイプの取り外しかたを誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。
  - ・パーキングブレーキをかけて、必ずエンジンを止めてください。

①プレート部の固定ネジ（４個）を取り外します。




②車いす固定用パイプを後方に引き出して取り外します。



③取り外した固定ネジ（４個）を元の位置に軽く締め付けます。

### ●車いす固定用パイプを取り付けるとき

取り付けるときは、逆の手順で行います。

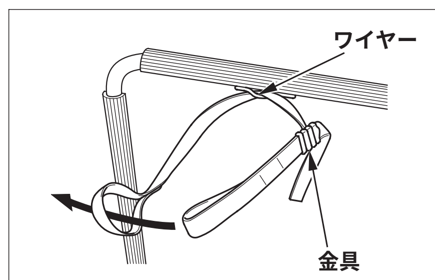
⚠注意

- 固定ネジを確実に締め付けてください。固定ネジがゆるむと、固定用パイプが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

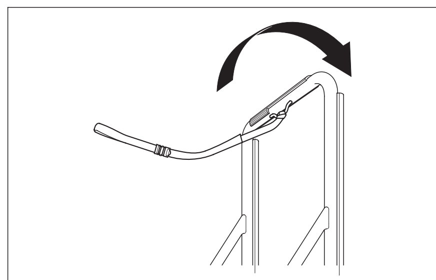
## 固定ベルトの取り付け

車いす固定ベルトを取り外し、再度取り付けるときは以下の手順で取り付けてください。

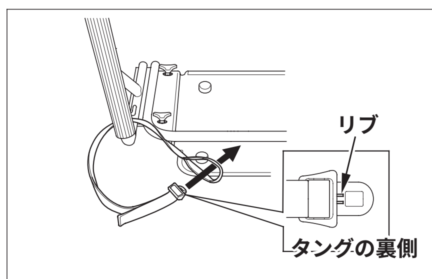
①パイプ本体とワイヤーの間に上ベルトを通し、ワイヤーにベルトをしばり付けます。このときベルトの金具が正面を向くように取り付けてください。



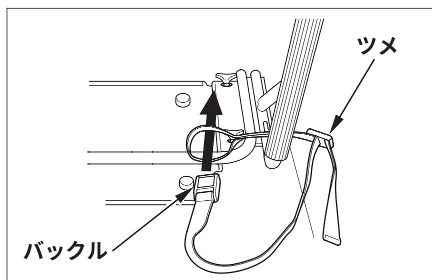

②しばった後はパイプの上を回してベルトを下へ垂らします。



③左ベルトを図のように取り付けます。タングには表裏があります。裏側にはリブがついています。表側が車両の後ろ側を向くように取り付けてください。




④右ベルトを図のように取り付けます。金具のツメを外側に向け、バックルの赤ボタン面が車両の後ろ側から操作できる向きに取り付けてください。



# 点検整備について

## 点検整備方式

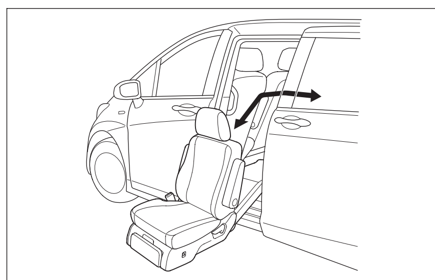
| 点検整備項目 | | 点検時期 | | | 交換時期(年) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 日常点検 | 12か月ごと | 24か月ごと | | |
| 回転昇降シート部 | 回転、昇降スピード、異音 | ○ | | | | |
| | 各取付部の緩み、がた、損傷 | | ○ | ○ | | |
| | ブザーの作動 | ○ | | | | |

## 日常点検

日常の回転昇降シートの使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検です。

**●回転、昇降スピード・異音の点検**

シートを回転、昇降させ、スピードが著しく遅くないか、異音がないかを点検します。

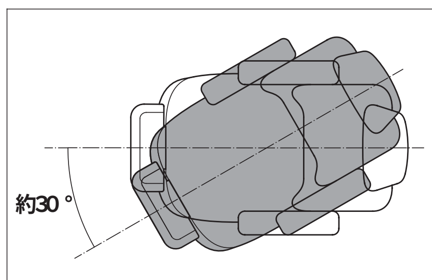


**●ブザーの作動の点検**

回転昇降スイッチを操作して、下記のようにブザーが鳴ることを点検します。

①回転昇降スイッチを押して、シートが作動を始めるときに" ピーッ "とブザーが鳴ること。

②シートが回転を開始した直後から約30°までの位置で、回転昇降スイッチから手を離すと" ピピピッ "とブザーが鳴り続けること。

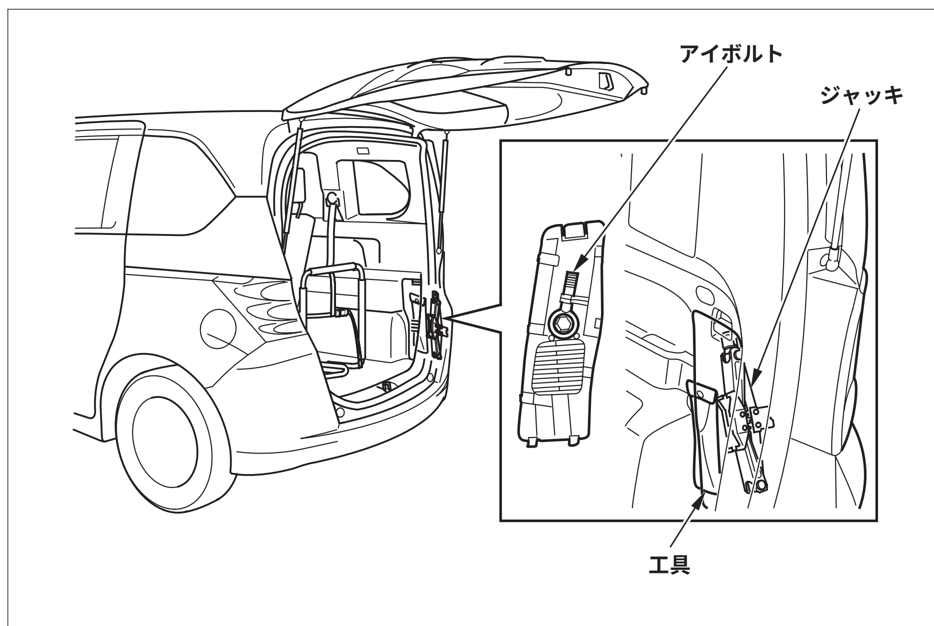



③回転昇降スイッチを上に押して、シートが走行位置(格納位置)まで戻ったときに" ピピッ "とブザーが鳴ること。

# 万一のとき

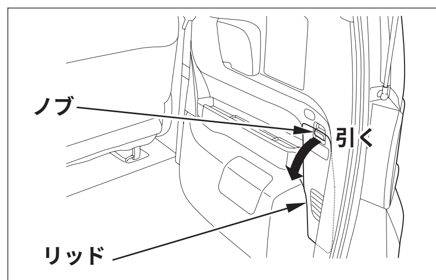
## 工具

### ●格納場所

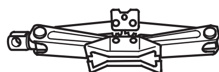



### ●工具の取り出しかた

ノブを引きながら、リッドを外します。



## ●工具の種類

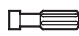

ジャッキ


ジャッキ
ハンドルバー


プラス／マイナス
ドライバー


ホイールナットレンチ
（兼ジャッキハンドル）


アイボルト


グリップ


プライヤー


スパナ（10mm×12mm）


ボックスレンチ

**知 識**

- 工具の種類、ジャッキの使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

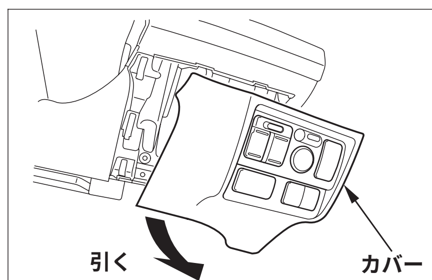
# シートが回転、昇降できないとき

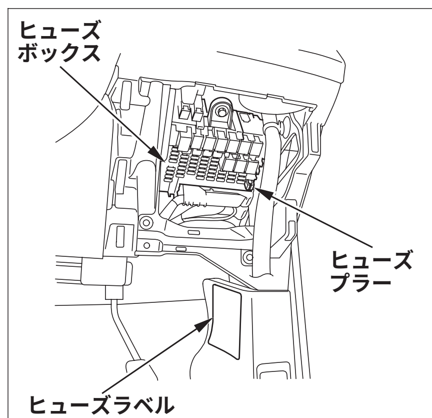
シートが回転、昇降できないときは、車のバッテリーを点検してください。
バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れが考えられます。

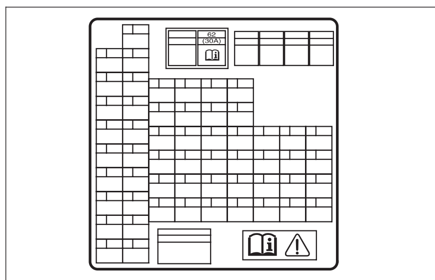
①エンジンスイッチを“ 0 ”の位置にします。
②ヒューズが切れていないかを点検します。
・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示と取扱説明書で確認し、点検します。
③必要に応じて、ヒューズを交換します。

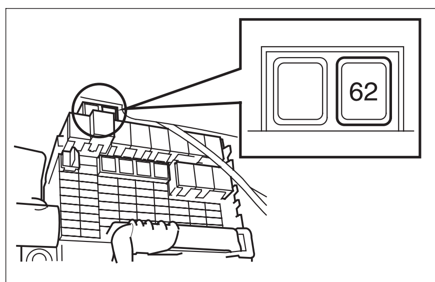
## ●ヒューズの点検、交換

運転席足元のヒューズボックス





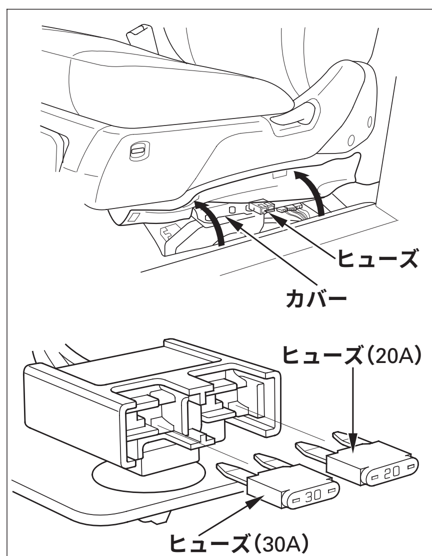




- **ヒューズの装備と容量**

| | 表示 | 装備 | 容量 |
|---|---|---|---|
| 62 | | 回転昇降シート | 30A |

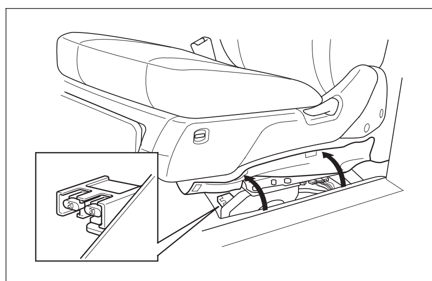
### 室内の回転昇降シートのヒューズの位置

回転昇降シート左側のカバーをめくるとヒューズがあります。

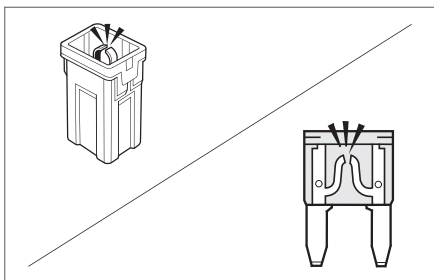



ヒューズ規定容量：20A、30A

回転昇降シートのスペアヒューズはシートの左前側にあります。



## ヒューズが切れているとき



表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

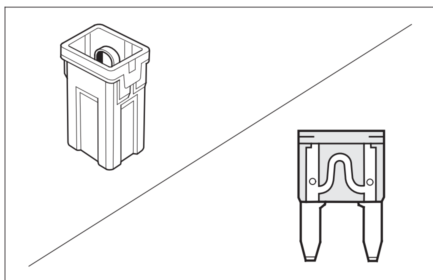

**アドバイス**

- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。
  配線コードなどを焼損させる原因となります。


**知　識**

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

## ヒューズが切れていないとき



ヒューズが切れていないのにシートが回転、昇降できないときは、装置の故障が考えられます。Honda販売店へご連絡ください。

→33ページ

## 回転昇降シートが正常に作動しないとき

### ●スイッチを押すとシートが動くとき

**知　識**

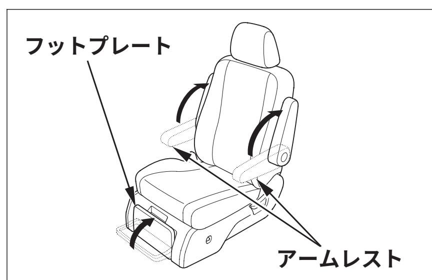
- バッテリー交換は、シートを走行位置(格納位置)にした状態で行ってください。
- バッテリー交換は、助手席側パワースライドドアを閉めた状態で行ってください。
  開けた状態で行うと、回転昇降シートが作動しなくなります。その場合は、いったん助手席側パワースライドドアを閉めてから、再度全開にすると回転昇降シートの機能が復帰します。

バッテリーやヒューズを外して再接続したときは、“ ピーピーピー ”とブザーが鳴り続け、通常の昇降操作ができなくなります。以下の手順で復帰操作を行ってください。
また、バッテリーやヒューズを交換していないのに通常の昇降操作ができなくなったときは、故障の可能性がありますので以下の手順で格納操作を行い、なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

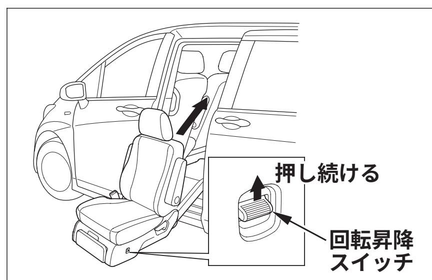
①フロントシート(助手席)の前後位置調節レバーを引き上げながらシートを前方いっぱいに動かします。

フロントシート　→FREED取扱説明書

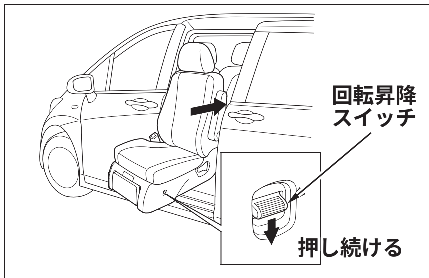
②アームレストを元に戻し、フットプレートを収納します。



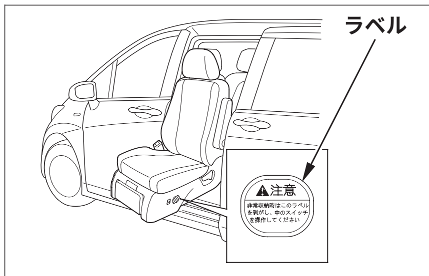

③回転昇降スイッチを上に押し続けて、シートが止まるまで上昇させます。



④回転昇降スイッチを下に押し続けて、シートが止まるまで車内側へ引き込みます。




⑤回転昇降スイッチの横にあるラベルをはがして非常用スイッチを確認します。




⑥シートが車体に接触しないように前後左右をよく確認しながら、非常用スイッチで回転とスライドの操作を交互に繰り返しで" ピッ "とブザーが鳴る位置までシートを格納(後ろへ下げる)します。

⑦スイッチから手を離すとシートが前方へスライドし、走行位置(格納位置)に戻ります。

**知　識**

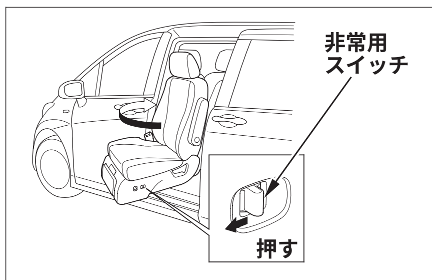
- 復帰(格納)操作の途中でスイッチから手を離すと、" ピー "とブザーが鳴ります。
- シートが走行位置(格納位置)に戻ると" ピピッ "とブザーが鳴ります。

⑧フロントシート(助手席)の位置を調節します。

フロントシート　→FREED取扱説明書

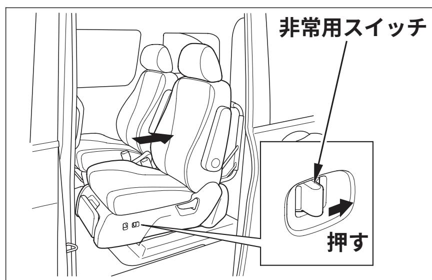
### 回転の操作

非常用スイッチを前側に押してシートを車内側へ回転させます。




### スライドの操作

非常用スイッチを後側に押してシートを後方へスライドさせます。




**知 識**

- 復帰操作を行った後は、回転昇降スイッチを操作して、シートが正常に作動することを確認してください。

**⚠注意**

- 復帰(格納)操作を行うときは、回転昇降シートに座らないでください。
  シートが正規の軌道を通らないため、手や足などをはさむおそれがあります。
- バッテリーやヒューズを外して再接続したときは、復帰操作を行うまで回転昇降シートを使用しないでください。また、格納操作を行ったあとはHonda販売店で点検を受けるまで回転昇降シートを使用しないでください。
  そのままで使用すると、シートが正常に作動しなかったり、思わぬけがをすることがあります。

## ●スイッチを押すとブザーは鳴るがシートが動かないとき

装置が故障した場合は、Honda販売店へご連絡ください。もし、連絡ができない場合は、次の方法で回転昇降シートを手動で格納してください。

> ⚠注意
>
> ● 手動格納の作業を行うときはシートの可動部分に手をはさまないように十分注意してください。

**シートが昇降の途中で動かなくなったとき**

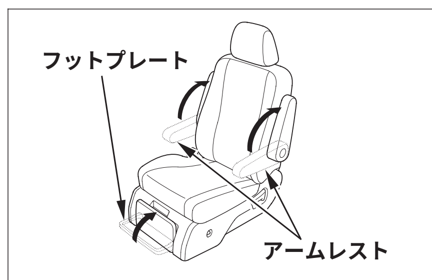
①フロントシート(助手席)の前後位置調節レバーを引き上げながらシートを前方いっぱいに動かします。

フロントシート　→FREED取扱説明書

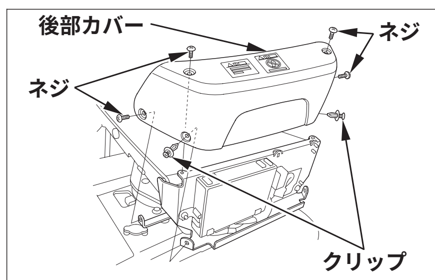
②運転席足元のヒューズを外します。

ヒューズの位置　→27ページ

③アームレストを元に戻し、フットプレートを収納します。

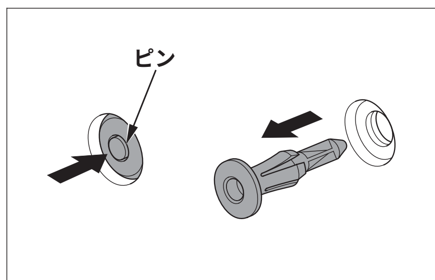


④プラスドライバーでネジ(４本)とクリップ(２個)を外して、回転昇降シートの後部カバーを外します。

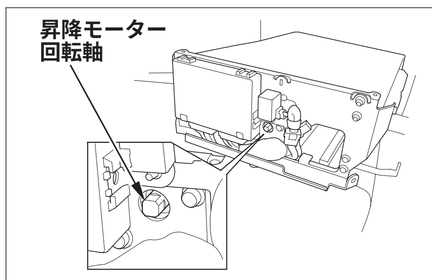



・**クリップ脱着のしかた**

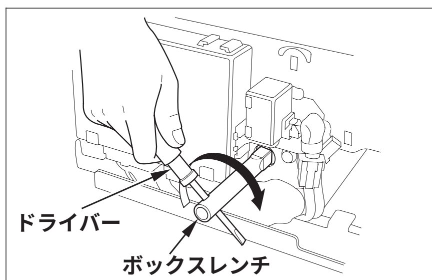
クリップ中央部のピンを“ カチッ ”と音がするまで軽く(２mm程度)押し込んでクリップを引き抜きます。




⑤回転昇降シート後部にある昇降モーター回転軸の位置を確認します。




⑥ボックスレンチにドライバーを差し込み、昇降モーター回転軸が回らなくなるまで矢印の方向へ回します。




## ⚠注意

●ボックスレンチで昇降モーター回転軸を回すときは、レンチが回転軸から外れたり、手をはさまないように十分注意してください。

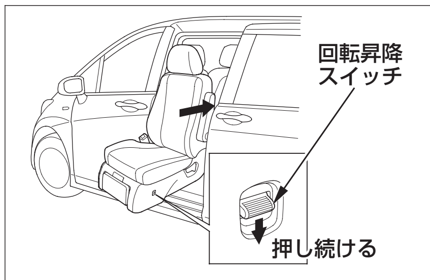
### 知 識

●ボックスレンチはゆっくり回してください。

⑦運転席足元のヒューズを取り付けます。

ヒューズの位置　→27ページ

⑧回転昇降スイッチを下に押し続けて、シートが止まるまで車内側へ引き込みます。




⑨回転昇降スイッチの横にあるラベルをはがして非常用スイッチを確認します。

非常用スイッチ部のラベル　→31ページ

⑩シートが車体に接触しないように前後左右をよく確認しながら、非常用スイッチで回転とスライドの操作を交互に繰り返して"ピッ"とブザーが鳴る位置までシートを格納(後ろへ下げる)します。

回転とスライドの操作　→32ページ

⑪スイッチから手を離すとシートが前方へスライドし、走行位置(格納位置)に戻ります。

**知　識**

- 手動格納操作の途中でスイッチから手を離すと、"ピー"とブザーが鳴ります。
- シートが走行位置(格納位置)に戻ると"ピピッ"とブザーが鳴ります。

⑫フロントシート(助手席)の位置を調節します。

フロントシート　→FREED取扱説明書

⑬なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

**⚠注意**

- 回転昇降シートを手動格納したときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

**シートが外スライドの途中で動かなくなったとき**

①フロントシート（助手席）の前後位置調節レバーを引き上げながらシートを前方いっぱいに動かします。

フロントシート　→FREED取扱説明書

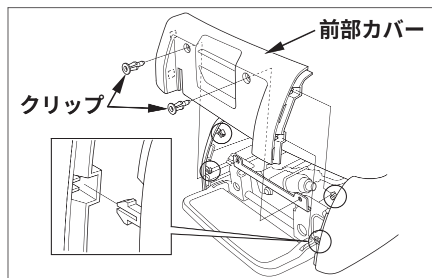
②運転席足元のヒューズを外します。

ヒューズの位置　→27ページ

③アームレストを元に戻します。

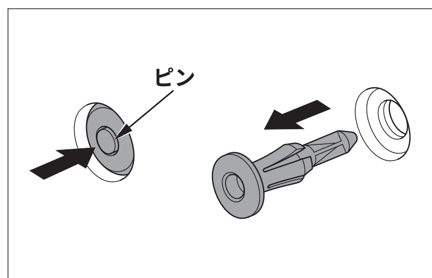



④クリップ（２個）を外して、回転昇降シートの前部カバーを外します。

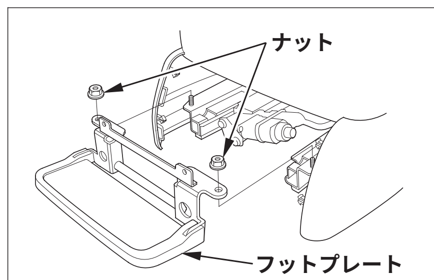



**・クリップ脱着のしかた**

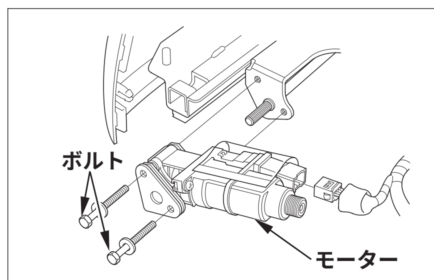
クリップ中央部のピンを“カチッ”と音がするまで軽く（２mm程度）押し込んでクリップを引き抜きます。



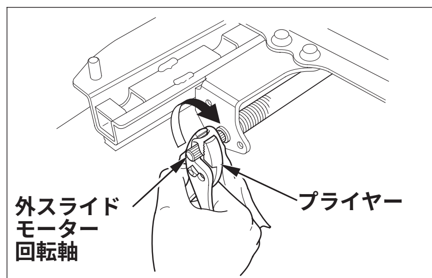
⑤スパナ(12mm)でナット(２個)を外して、フットプレートを外します。




⑥スパナ(10mm)でボルト(２本)を外して、モーターを抜き取ります。




⑦外スライドモーター回転軸が回らなくなるまでプライヤーで矢印の方向へ回し、シートを車内へスライドさせます。外スライドモーター回転軸を傷つけないように、回転軸に布などを巻いてプライヤーを使用してください。



⑧運転席足元のヒューズを取り付けます。

ヒューズの位置　→27ページ

⑨回転昇降スイッチの横にあるラベルをはがして非常用スイッチを確認します。

非常用スイッチ部のラベル　→31ページ

⑩シートが車体に接触しないように前後左右をよく確認しながら、非常用スイッチで回転とスライドの操作を交互に繰り返しで“ ピッ ”とブザーが鳴る位置までシートを格納（後ろへ下げる）します。

回転とスライドの操作　→32ページ

⑪スイッチから手を離すとシートが前方へスライドし、走行位置（格納位置）に戻ります。

 知　識

- 手動格納操作の途中でスイッチから手を離すと、“ ピー ”とブザーが鳴ります。
- シートが走行位置（格納位置）に戻ると“ ピピッ ”とブザーが鳴ります。

⑫フロントシート（助手席）の位置を調節します。

フロントシート　→FREED取扱説明書

⑬なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

⚠注意

- 回転昇降シートを手動格納したときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

**シートが回転、前後スライド途中で動かなくなったとき**

Honda販売店へご連絡ください。

### ●回転昇降スイッチを押してもブザーが鳴らず、シートも動かないとき

Honda販売店へご連絡ください。

⚠注意

- 回転昇降スイッチを押してもシートが動かないときは、Honda販売店で点検・修理を受けてください。なお、点検・修理が完了するまでは、回転昇降シートに座らないでください。ロックが解除されたままになっているため、走行中にシートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

# サービスデータ

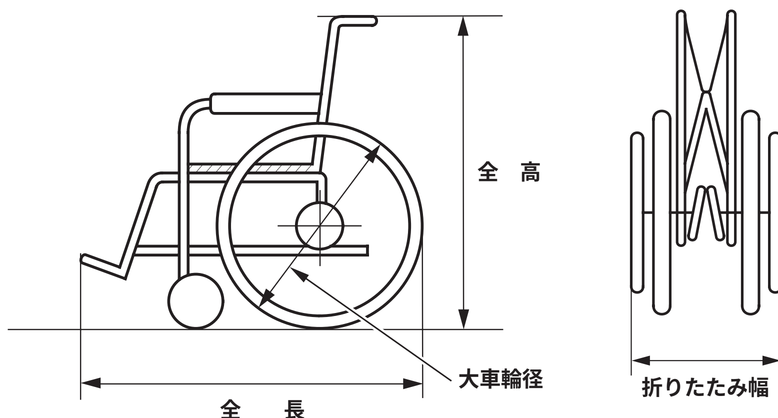
## サービスデータ

| 項　　　　目 | サ　ー　ビ　ス　デ　ー　タ |
|---|---|
| 回転昇降シート最大昇降能力 | 100kg |
| 乗車定員 | 4人 |

## 収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすのサイズは下表のようになっていますので、車いすを購入されるときに、あらかじめ確認してください。なお、下記条件を満たしている場合でも形状によっては搭載のできない車いすがあります。

| 項目　タイプ | 自走式、介護式 |
|---|---|
| 大車輪径 | 24インチ以下 |
| 全高 | 920mm以下 |
| 全長 | 990mm以下 |
| 折りたたみ幅 | 320mm以下 |
| 重量 | 20kg以下 |






万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

30SYYS00
00X30-SYY-S001